

雨水対策強化へ、シールドマシン発進！

—港町三丁目・中の島地区下水道事業—

震災で地盤沈下した港町・尾島町・新富町地区の雨水の排水機能を強化させるために、国道45号線の地下に雨水の貯留施設（中央第2貯留管）と中の島公園にポンプ施設（中央第2ポンプ場）を整備しています。

また、現在ある中央ポンプ場からの排水機能を高めるために、雨水を海へ直接放流する地下水路（中央放流渠）を併せて整備しています。



シールド工法って？

トンネルの掘削機「シールドマシン」を地中に掘進させる工法。土砂の崩壊を防ぎながら安全に掘削し、「セグメント」と呼ばれる内側の壁を組み立てながらトンネルを掘り進めています。



※工場製作完成状況



▲発進立坑から地下15メートルへ

	平成26年度	平成27年度
シールドマシン製作・掘進工事	→	
流入管などの設置工事	→	
公園内整備		→

中央第2ポンプ場 (イメージ図)



地上2階、地下2階建の建屋に直径800ミリポンプ2台を配備。毎秒2.7立方メートルの排水が可能となります。



下水道課 ☎364-2193

日本初! 浦戸・寒風沢で 潮流発電による電力供給実験開始!



▲寒風沢水道に設置された潮流発電装置

東北復興プロジェクトとして

日本で初めてとなる潮流発電の実証実験装置2基が浦戸・寒風沢水道（旧市営汽船棧橋付近）に設置されました。（11月18日）

潮流発電は平成24年度から、文科省の東北復興プロジェクトとして東京大学のグループなどで研究が進められてきました。これまでに付近の流速や流量について調査・研究を行い、防潮堤復旧工事との調整や必要な許認可を得て今回の実験装置の設置に至りました。寒風沢水道は地形的に潮の流れが一定で、水深、流量ともに潮力発電の条件に適していることから選定されました。電力供給は来年2月から開始される予定です。

地産地消のグリーンエネルギー

潮流の力でプロペラを回して発電するため、環境にやさしく、安定的でクリーンなエネルギーです。出力は2基で5キロワット毎時。

発電した電力は寒風沢地区総合漁民センターの冷蔵設備の電力として供給されます。

発電装置 縦横5メートル、高さ7メートルの鉄枠の中に直径4メートル、高さ2メートルのプロペラが2枚ずつ取り付けられていて、水深6メートルの海中に設置する。



▲発電装置の海中イメージ

問 復興推進課総務係 ☎364-1111(内線333)

復興ニュース

南陽市の子どもたちから野菜のプレゼント!

山形県南陽市の梨郷りんごう小学校の児童と梨郷地区住民など43人が浦戸寒風沢を訪れ、学校農園で育てた野菜約80セットを寒風沢地区に住む皆さんに届けられました。

また寒風沢地区住民や浦戸第二小学校児童と交流を行い、地域の皆さんとふれあいました。

(11月10日 浦戸寒風沢仮設住宅)



◀各家庭を回って手渡しする
梨郷小の児童たち

問 生活福祉課 ☎364-1131

北浜地区一土地区画整理事業の現場事務所 開設



北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業区域内に、現場事務所を設置しました。11月から事務所に職員が常駐し、事業に関する打合せや事業を円滑に進めるための事務作業などを行っています。

北浜事務所 ☎253-6447

問 復興推進課総務係 ☎364-1111(内線333)